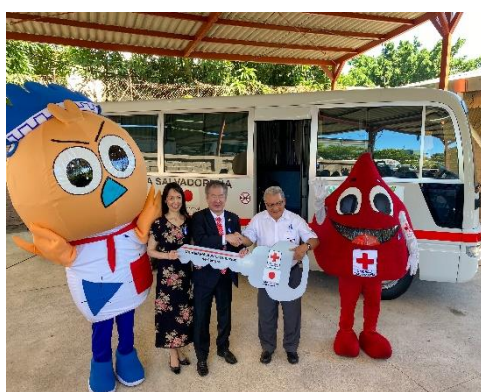


草の根無償「エルサルバドル赤十字社献血車整備計画」供与式

11月24日、有吉大使は、エルサルバドル赤十字社献血車整備計画の供与式に出席し、献血車の供与、テープカットおよび献血のデモンストレーション等を行いました。式典には、ルイス・エルサルバドル赤十字社会長、赤十字社関係者および報道機関を含めた約40人が出席しました。

本計画は、エルサルバドル赤十字社に献血車1台を供与することで、同社の献血活動の促進及び医療機関への血液製剤の安定供給を図り、当国が抱える輸血用血液不足の改善に寄与するものです。草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて総額約11万5,900米ドルが赤十字社に供与され、エルサルバドルにとって初となる献血車にかかる車両調達、輸送及び整備が行われました。本計画実施により、輸血を必要とする約1万2000人の患者への輸血用血液製剤の供給が可能になります。

有吉大使は挨拶の中で、本事業を通じてエルサルバドルの開発に日本が貢献できていることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするところであると述べた上で、この献血車供与により、献血活動のイメージアップや自発的献血の促進につながることを信じている旨述べました。





(受益者の声)

本案件を実施してくれた日本の皆さま、日本政府に深く感謝申し上げます。本件実施により、エルサルバドルで初となる献血車を利用し、国内全域で安全で効率的な献血活動が可能になるため非常に嬉しく思います。本当に皆様に心よりお礼申し上げます。

エルサルバドル赤十字社総務総括
パオラ・アルベレンガ代表



(受益者の声)

エルサルバドル赤十字社血液センターを代表し日本の皆さま及び日本政府に感謝申し上げます。本献血車供与のおかげで、より多くの献血活動の実施が可能になります。エルサルバドル国民の人命救助分野を支援いただき本当にありがとうございます。

エルサルバドル赤十字社血液センター広報部
ジャックケリン・カンタレロ代表